



Blog

小林茂 (日本ユニシス (株))
玉川竜司 (Sky (株))



Blog



機能概要

愛・地球博, パビリオンの記事, 周辺を紹介するコンテンツが掲載されたBlog。

特徴

キーワードごとに分別されたコンテンツに, 他のサイトからトラックバックすることができる。

The screenshot shows the iPlatBlog website interface. The main content area displays a list of blog entries. A sidebar on the right contains a '他の Blog' (Other Blogs) section with a table of links:

他の Blog		
Blogタイトル		
メモ等	名古屋城のこと	層
Book Mark	愛知万博	リンク
	名古屋ドーム	RSS
		Track Back

A callout box with a red arrow points to the 'Track Back' link, containing the text: **iPlatBlogの記事にトラックバック**

トラックバック



iPlatBlog

他のBlog

TrackBack URL

TrackBack URL

iPlatBlog上マレーシア館の記事

マレーシアに関する記事

Copyright © XML Consortium 2005 All rights reserved. 3

FORMによるトラックバック要求



オプション：常に UTF-8 として URL を送信する (再起動が必要)

```

<form method="POST" action="*****">
  <div>ブログ名:<input type="text" name="blog_name" size="50" /></div>
  <div>記事タイトル:<input type="text" name="title" size="50" /></div>
  <div>記事概要内容:<textarea name="excerpt" rows="3" cols="60"></textarea></div>
  <div>記事 URL:<input type="text" name="url" size="100" /></div>
  <div><input type="submit" value="トラックバックPING" /></div>
</form>
  
```

Copyright © XML Consortium 2005 All rights reserved. 4

トラックバックの応答メッセージ



トラックバックに成功したとき

```
<?xml version='1.0' encoding='UTF-8' ?>
<- response>
<error>0</error>
</response>
```

errorの値が 0

トラックバックに失敗したとき

```
<?xml version='1.0' encoding='UTF-8' ?>
<- response>
<error>1</error>
<message>Could not save trackback data, possibly because of a double entry: Duplicate entry '7-http://blog.goo.ne.jp/s_koba84/a/4d932006b470f47cd1da48942c9daf29' for key 1</message>
</response>
```

errorの値が1で、messageにその内容が返される

Nucleus CMS



- オープンソースのBlog/CMS
- <http://www.nucleuscms.org/>
- 技術情報が公開されている (DBのスキーマ)
- 日本語の情報も比較的豊富





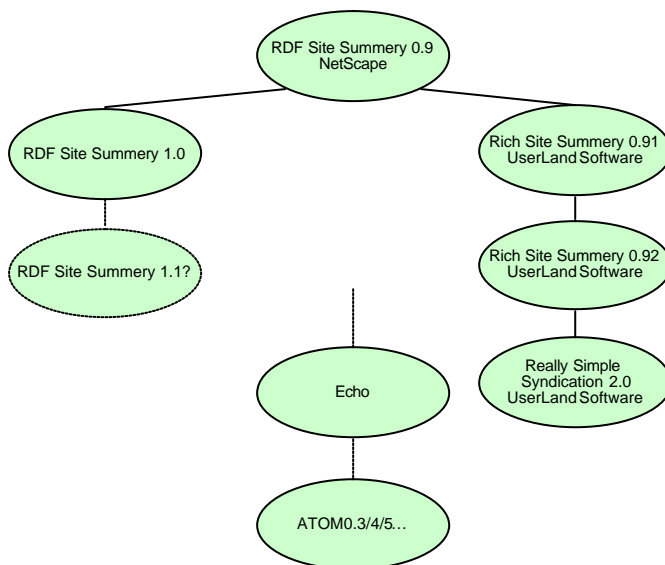
連携のインターフェース



- Blog連携サービスはAtomフィードを受け取る
 - 複数のサービスとの連携ではあるが、差異はAtomで吸収し、統一的なフォーマットで処理ができる
 - 緩い連携を実現する :HTTPでGetして返ってきたAtomをparseするだけ
- Nucleusのコンテンツは、MySQLへアクセスすることで取得できる
 - <http://docs.nucleuscms.org/blog/14>
- Nucleusは各種のBlogAPをサポートしているが、今回の目的にはやや不向き
- 独自にAtomフィード生成機能を実装 (PHP)
- ライブラリとしてFeedCreatorを使用
 - <http://www.bitfolge.de/rsscreator-en.html>



Atomに至る歴史





Atomを使うと何がうれしい!



- RSSの進化は、基本的にはもう止まっている
 - RSSはReally Simpleであるがゆえに成功した
 - ただし、より複雑なデータを扱うための厳密な仕様定義という点が弱い
 - RSS1/2系の仕様は、その策定者たちによって「凍結」が宣言されている(マイナーなメンテナンスはある?)
- Atomでは、仕様に関する議論がオープンかつ活発に行われている
 - やり取りされるデータのフォーマットや、そのエンコード/エスケープの仕方が厳密に定義されている
 - よりリッチな情報を、互換性の心配なくやりとりできるようになる(だろうと思われる)
- 乱立するコンテンツ操作のAPIが統一される可能性がある
 - xmlrpcをベースにする一連のAPIは一定の成功を収めているものの、複数のAPIが乱立している
 - Atom Publishing Protocolによって統一されれば、ソフトを書くほうはもちろん楽



Atom Syntax – 簡単な例



```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<feed version="draft-ietf-atompub-format-05:do not deploy"
  xmlns="http://purl.org/atom/ns#draft-ietf-atompub-format-05">
  <head>
    <title>Example Feed</title>
    <link href="http://example.org/" />
    <updated>2003-12-13T18:30:02Z</updated>
    <author>
      <name>John Doe</name>
    </author>
  </head>
  <entry>
    <title>Atom-Powered Robots Run Amok</title>
    <link href="http://example.org/2003/12/13/atom03"/>
    <id>vemmi://example.org/2003/32397</id>
    <updated>2003-12-13T18:30:02Z</updated>
  </entry>
</feed>
```



- 文字コードの問題
 - 仕様レベルで中途半端 (エンコードの指定がない)
 - 実際に文字化けが発生するケースに遭遇
- セキュリティ上の問題
 - XMLに基づく連携システム中に、外部から送信されたデータが入ってくる
 - クロスサイト・スクリプティングのような問題が起こりうる 適切なエスケープ処理が重要
- 全体に、緩い仕様に基づいて普及してしまっているように思えるが、緩い仕様の故に広まったという側面もあるかもしれない